



人権学習を通して 考えたこと

3年生



《3年生の学習テーマ》
自分自身を大切にすること
周りの人も大切にすること
新型コロナウイルスをめぐる差別を
しない人に！

1:35 / 3:40

3年生は1, 2年生で学習してきた内容の再確認の上に、自分自身の存在の価値を知り、自分自身そして周りの人も大切にすることを学びました。その後、新型コロナウイルスをめぐる偏見・差別について学びました。

今回は3年生の学習と考えたことを紹介します。(文章は一部編集しています)

☆「ひとりじゃないよ」という本を見たときに、まず「君には仲間がいっぱいいるんだよ」ということがすごい伝わってきました。歌の中にもあったけど、「あなたは生きているということがいいこと」というのがあって、この歌、この言葉はすごいいい言葉だなあ、と感じました。あと「一日の中で、何かうれしいことを見つけなさい、なければ生きていることを喜びなさい」というのを見たとき、今日の中で嬉しかったことは何かなあとか、今まで嬉しかったことは何かなあとかを考えることができました。考えてみると、何かでいつもより良い点数を取ったとか、嬉しいことや幸せなことがいっぱいあるけど、先生、友達、親など自分を支えてくれている人がいるということが、自分の中では一番嬉しいし、幸せなことかなあと思いました。

これからの人生の中で落ち込んだりしたときは、この「ひとりじゃないよ」を思い出そうと思いました。改めてこの歌はいい歌だなあと思いました。(1組 男子)

☆「平和ってなに？」のところ、平和とは何なのだろうかや、どうなったら平和なのか、ということが考えられました。そして、一人ひとりが違うから人生に出会いがあるし、おもしろいんだと思います。しかも、その一人ひとり、一日一日でも違うから、楽しいとも思えるのかなと思いました。

幸せについても考えられました。幸せは楽しいことばかりあっても幸せとは思えないと思います。

《裏面に続く》





幸せとは、少しの苦勞と努力して成功するという
ことだと思いました。自分もそのような幸せを見
つけたいです。 (2組 男子)

☆私が心に残った言葉は、「幸せ」をおすそ分けす
ることです。少しずつ幸せを分けたり、分けても
らったりして、幸せになっていくと分かりまし
た。日々の中で、大きな幸せをすぐには見つけら
れなくても、小さな幸せや喜びを一つずつ拾って

いくことで、それが大きな幸せのパズルのピースのようになると思いました。だから、嫌だな
と思った日でも、空がきれいだった、花が咲いていたなどの、小さな幸せを見つけていこうと
思いました。また、当たり前なのに感謝をしていこうと思いました。どうしても、不安なこと
や不満なことがあると、目の前にある大切なことに気づけないけど、そこで前を向いて新し
いことに気づけたりするのかなと思いました。誰かが何かをしてくれる、ではなく、自分から
世界に目を向け、悲しんでいる人を助けたり、誰かを幸せにできる人になりたい。また、日々
の中で小さな幸せを一つずつ拾って行って、それが大
きな幸せにつながっていけばいいなと思いました。

(3組 女子)

☆ (道徳「卒業文集最後の二行」を学習して) もし、あ
の二行がなかったら、筆者はT子さんの思いに気づけ
ぬまま過ごしていたと思います。T子さんの思いを知
ることによって、人と接する時に心の中にある弱さに
立ち向かうことの大切さが分かったのだと思います。

筆者が何十年もの間後悔しているのは、それだけ自分を変えた出来事だったからだと思いま
す。一度あった失敗を、そのまま心から消し去ると悲しまなくていいかもしれないけど、筆者
のように深く心に刻むことも大切なことだと思います。

(3組 女子)

☆「無実の罪」を学習して、三つ編みの子のように信じてくれる人が一人でもいれば楽になれ
ると思うし、支えてくれて、助けてくれる人がいるというのは、とても大切だなと思いま
した。だから、私ももしこういういじめや偏見が身近で起きたときには、三つ編みの子
のように、周りの反応だけに流されず、少しでも支えられる存在でいたいです。 (1組 女子)



3年生は人権学習を
通して、「自分のなり
たい姿」「自分の在り
方」を考えた感想が
多かったです。

